東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅱ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：	高校生の美術２/日本文教出版

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　美術Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや、表現の意図と創意工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 1　木彫スプーン①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	材を正しく扱う。	デザインの考え方、材の特性について					木目の方向などを踏まえて木どりできたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	身近なデザインについて考える。	作品					身近なものの形とデザインの関係を考えることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	素材の魅力に気づく。	調べ学習					木材の美しさを感じとることができたか。				
	単元 2　木彫スプーン②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	道具を安全に扱う。	道具の安全な扱い方、制作					持ち方や姿勢に注意を払い、適切に道具を扱えたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	機能や美しさを考える。	作品					機能や美しさをもとに形を考えることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	素材の魅力を味わう。						木材の特性を生かして制作できたか。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説										
	単元 3　木彫スプーン③	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	道具の特性を理解する。	仕上げ、鑑賞、振り返り					道具や加工方法を適切に選択して制作できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	機能や美しさを工夫して表現する。	ワークシート					機能や美しさをもとに工夫して制作できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	素材の魅力を深く味わう。						木材の魅力を感じ取り、愛着をもって制作できたか。				
	単元 4　風景写生	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	画材を適切に扱う。	NHK高校講座の視聴、校内写生、相互鑑賞					B系の鉛筆を用いて積極的に線をひけたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	自身の感覚を発揮し、対象を深く見つめることができる。	作品					対象を深く観察できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	作者の様々な視点を味わう。						視点や構図の面白さに気づくことができたか。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説										

東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅱ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：	高校生の美術２/日本文教出版

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　美術Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや、表現の意図と創意工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5 ポスター制作	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	アプリを用いた表現方法を知る。	Adobe Expressの扱い方					アプリの操作を適切に行うことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	デザインの良さについて考え、工夫して表現できる。	作品					色や形、配置やフォントなどを使い分け、適切に表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	身近な生活と表現を結び付けて捉える。	画像作成アプリ					身近なデザインの良さから発想を膨らませることができたか。				
	単元 6 アニメーションCM制作①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	アニメーションの基本的な仕組みを知る。	GIFアニメーションの特性					簡単なアニメーションを制作できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	アニメーション表現の特性を考える。	作品					アニメーションの特性や魅力を考えることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	アニメーションを身近に感じる。	アニメーション作成アプリ					身近なアニメーションについて考えることができたか。				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説										
	単元 7 アニメーションCM制作②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	様々なアニメーション表現を知る。	メタモルフォーゼ、ピクシレーション					アニメーションの技法を用いて制作できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	様々なアニメーション表現の特性を用いて表現する。	作品					アニメーションの技法の特性や魅力を考えることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	アニメーションの関心を深める。	アニメーション作成アプリ					日常生活を踏まえてアニメーションを考えることができたか。				
	単元 8 アニメーションCM制作③	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	CM表現の要素を理解する。	CM制作、相互鑑賞、振り返り					アニメーションを用いて情報を伝えることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	アニメーションの特性を生かして表現を工夫する。	ワークシート					アニメーションの特性や魅力を生かして工夫して表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	アニメーションの奥深さに興味を深める。	アニメーション作成アプリ					日常生活とアニメーションのつながりを考えることができたか。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説										

東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅱ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：	高校生の美術２/日本文教出版

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　美術Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや、表現の意図と創意工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 9 セメント陰刻鋳造の冷蔵庫マグネット制作①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	素材や技法の仕組みを理解する。	陰刻鋳造による練習作品					意図した形を造形できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	身近なデザインについて考える。	作品					身近なデザインの良さを捉えることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	素材や技法の面白さを味わう。						素材の魅力や、技法の面白さを感じ取ることができたか。				
	単元 10 セメント陰刻鋳造の冷蔵庫マグネット制作②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	素材や技法の特性を理解する。	アイデアスケッチ、成形、セメント入れ					出来上がりを想像して制作できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	身近な生活と結び付けてデザインを考える。	作品					目的を持った形を考えることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	素材や技法の面白さを深く味わう。						素材の魅力や、技法の面白さを生かして制作できたか。				
	単元 11 セメント陰刻鋳造の冷蔵庫マグネット制作③	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	素材や技法の特性を生かして造形する。	取り出し、マグネットつけ、仕上げ					想像した形を造形できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	目的に合わせて造形する。	ワークシート					目的に合わせて工夫して表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	身近な生活とデザインを結び付けて捉える。						素材の魅力や、技法の面白さを感じ取り、愛着を持って制作できたか。				
	単元 12 １７歳の目	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	画材を適切に扱う。	細密デッサン、相互鑑賞					ケント紙や鉛筆を用いて細密に描けたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	対象を深く観察して表現する。	作品					立体感や質感を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	表現することの大切さを感じ取る。						表現することの面白さを感じ取り、意欲的に活動できたか。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説										